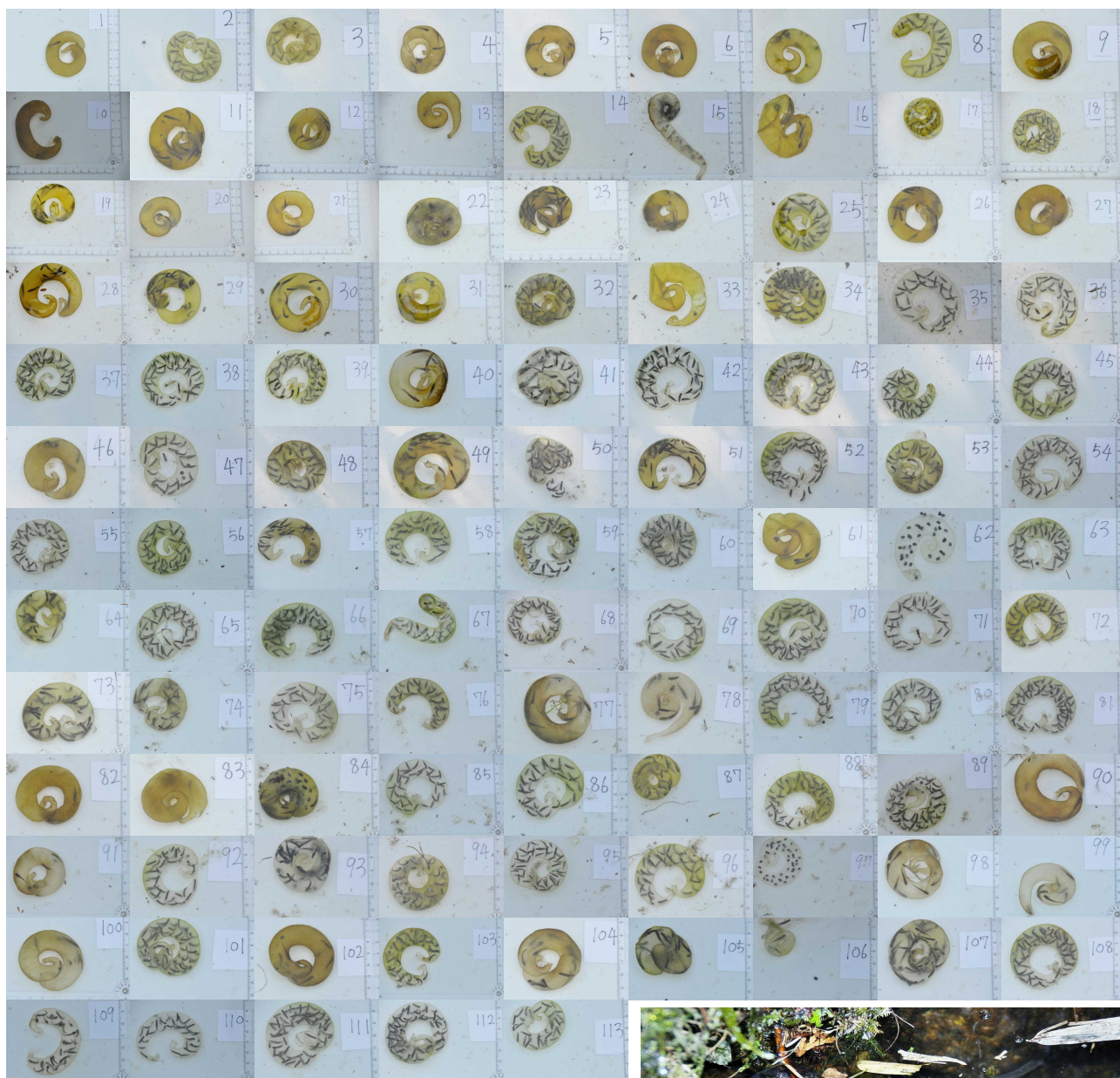


トウキョウサンショウウオの産卵数調査



2015年4月2日、科学部によって、栃木市（旧岩舟町）にあるトウキョウサンショウウオの産卵地で、卵嚢（らんのう）の調査が行われた。畳4分の1くらいの水域で**合計113個**の卵のうを確認し、一つ一つを写真で記録した（上の写真）。1匹の雌から2個の卵のうが産み出されるので、少なくとも60匹の雌が産卵に訪れたことになる。かなりの密度であり、卵嚢の形もバリエーションがあっておもしろい。

ところで、今年は県内約**180カ所**の産卵場すべてを調査する予定である。本校科学部の生徒にも協力してもらい、すでに8割以上の産卵地を回っている。もし、上の写真のような卵嚢を見かけたら、本校生物室までぜひ、ご一報ください。

（産卵のようすと調査隊のメンバー→）

